



支え合い・助け合い 誰もが安心して暮らせる社会へ



第95回 三重県中央メーデー



▲開会挨拶をする番条会長



▲津地協女性委員 久世さん



▲司会アシスタントを務める
青年委員会委員長の田中さん(右)
と副委員長の木股さん(中央)



▲農団労によるキャベツの販売
(売上金38,635円は愛のカンパに寄付)



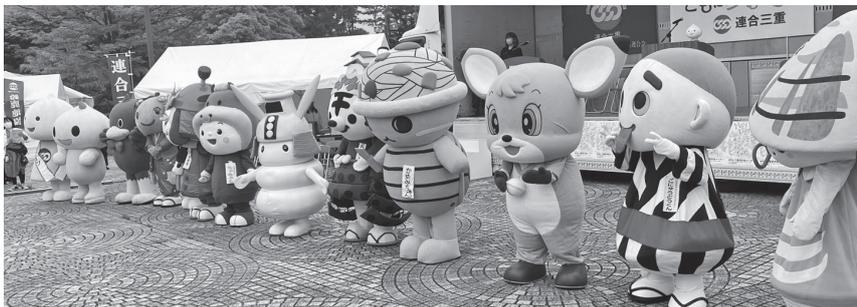
▲青年委員会によるバルーンアートの作成と配布



4月27日(土)、津市のお城西公園にて津地協との共催で第95回三重県中央メーデーを開催しました。会場には組合員やその家族約1,100名が集まり、労働者の祭典を祝いました。今年は、式典前のイベントとして全10地協内の市町のゆるキャラやユニオニオン、福祉事業団体のゆるキャラ13体が参加者をお迎えし、会場を盛り上げました。

主催者を代表して番条会長は、冒頭、1月1日に発生した能登半島地震において被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げ、また、2024春季生活闘争においては、大企業から中小企業にわたって高い賃上げが実現しているが、現在交渉中の組合においては引き続き粘り強い交渉を行い、労使で理解し合える結果を導き出していきたいと挨拶しました。その後、メーデースローガンの確認と津地協女性委員会の久世さんによるメーデー宣言の採択が行われ、最後は番条会長によるガンバロー三唱で式典を締めくくりました。

式典後のお楽しみ抽選会では、構成組織や事業団体から提供いただいた家電や旅行券など総数36本の抽選を行い、会場は大いに盛り上がりました。



▲全10地協内の市町のゆるキャラと福祉事業団体のゆるキャラが大集合

毎年おおよそ
1億円のカンパ金が
よせられています

会場にて「連合・愛のカンパ」を実施させていただき、募金21,032円を寄付させていただきました。ありがとうございました。

適切な価格転嫁めざし 15団体が共同宣言を採択



連合三重と、経営・経済・業界団体、行政機関の計15団体は、「適正な取引と価格転嫁を促進し地域経済の活性化に取り組む三重共同宣言式」を4月25日に行い、各団体が相互に連携・協力し、適切な取引と価格転嫁とともに賃上げを促進する機運を高め、地域経済の活性化につなげることを共同で宣言しました。

この共同宣言は、宣言機関・団体が相互に連携及び協力をを行い、適正な取引を促進するとともに、原油・原材料費、エネルギー価格、物流費、労務費等の上昇分を適切に価格へ転嫁することについての機運を醸成し、サプライチェーンの維持・強化、中小企業・小規模企業の付加価値、生産性及び稼ぐ力の向上ならびに賃上げの実現

につなげることによって、地域経済の活性化に寄与することを目的としています。連合三重としても実効性のあるものとしていくため、取り組みを進めていきます。

参加団体は以下の15団体です。

三重県商工会議所連合会、三重県商工会連合会、三重県中小企業団体中央会、三重県経営者協会、三重県中小企業家同友会、一般社団法人三重県銀行協会、三重県信用金庫協会、三重県信用保証協会、公益財団法人三重県産業支援センター、経済産業省中部経済産業局、財務省東海財務局津財務事務所、厚生労働省三重労働局、国土交通省中部運輸局三重運輸支局、三重県、連合三重



公契約条例制定を求め 名張市へ要請

4月18日、公契約条例制定をめざす推進協議会(代表:番条会長ほか7名)は北川名張市長へ公契約条例の制定を求める要請を行いました。また、5月15日には名張市議会の永岡議長と阪本副議長に要請を行いました。

公契約条例は、三重県内では現在、津市と四日市市で制定されています。公契約条例制定をめざす推進協議会は、公共工事及び公共サービスの質の確保と向上、地域における適正な賃金水準の確保などを求め引き続き活動を進めていきます。

◇公契約条例とは

自治体が発注する公共工事・業務委託等に従事する従事者の賃金・報酬下限額を設定し、自治体・受注者の責任等を契約事項に加えることを定めた条例です。



▲名張市長へ要請



「だいたい食堂」が 4周年を迎えました



4月19日(金)フレンテみえにおいて、三重県主催のステップアップカフェ「だいたい食堂」4周年記念イベントが開催され、連合三重をはじめ、企業、福祉、学校関係者など60名が集いました。

はじめに主催者の三重県から、「ステップアップカフェ『だいたい食堂』は、皆様のご協力により約36,700人の利用をいただいた。」と謝辞の挨拶がありました。

記念イベントでは、ステップアップカフェ『だいたい食堂』のこれまでの取り組み報告や、「障がい者就労を通じた地域づくり」と題して、経営者代表・特別支援学校就職支援員・障がい者雇用の支援団体代表によるトークセッションが行われました。

また会場エントランス付近では、だいたい食堂4周年記念特別メニューの提供や、ステップアップマルシェが開設され、多くの人で賑わいました。



▲「だいたい食堂」運営代表の湯浅しおりさん



▲物販ブース

ステップアップマルシェ

～イベントの物販ブースに出店された福祉事業所を紹介します～

お菓子工房M
【松阪市】



サンドウィッチ&
カフェPEER
【津市】



すみれカフェ
【亀山市】



アスリードプラス
【鳥羽市】



6月は 連合「男女平等月間」です

連合は、2004年より6月を「男女平等月間」と設定し、その時々課題をテーマに取り組んできました。今年も、男女平等をはじめ、一人ひとりが尊重された「真の多様性」が根付く職場・社会の実現に向けて取り組みを進めていきます。

なぜ6月なの？

1985年6月に男女雇用機会均等法が公布されたことを記念し、厚生労働省が翌年より6月を「男女雇用機会均等月間」としたからだよ。

連合三重の主な取り組み

- 三重労働局雇用環境・均等室長への要請
- ジェンダー平等・多様性推進学習会の開催
- 女性のための労働相談ホットライン
- 連合統一街宣（地協）
- ジェンダー平等推進に関する調査の実施
- FM三重ラジオCMの放送

- 職場におけるハラスメントを放置することは、働く者の働きがいを損ない、心身の健康を脅かしかねません。ハラスメントは、被害者に精神的・身体的苦痛を与え、人格や尊厳を侵害するのみならず、当該言動を見聞きしている周りの者をも不快に感じさせ、就業環境全体を悪化させるものです。まさに人権問題であり、決して行ってはならず、あつてはならないものです。

◆ 連合統一街宣（地協）



※写真は昨年



あんなじゃ話にならない!! 責任者出せ!

心をもめている人はいませんか?

あつてはならない!!

STOP! カスハラ

気づかぬうちに、言ってみませんか?

申し訳ありません

外出が憂うつ

起きられない!

職場の労働問題で困ったことがあれば連合に相談を

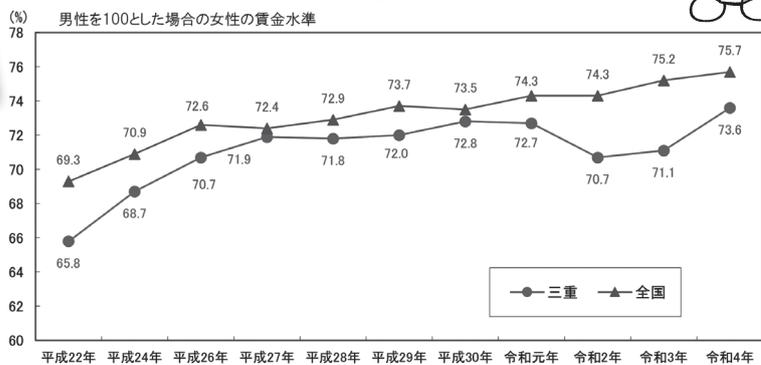
0120-154-052

日本労働組合総連合会

三重県の女性労働者等の実情

男性一般労働者（短時間労働者以外の労働者）の所定内給与を100とした場合、三重県の女性一般労働者の賃金水準は、令和4年では73.6%であり、依然として男女間賃金格差があります。

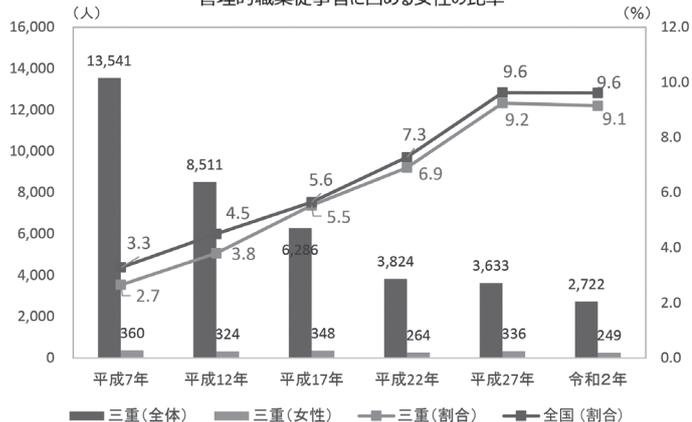
男女間所定内給与額の格差



資料出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」
※令和2年の調査変更に伴い、過及集計された結果を使用

管理的職業従事者に占める女性の比率は、緩やかに増加傾向にありますが、依然として低い状況となっています。

管理的職業従事者に占める女性の比率



資料出所：総務省統計局「国勢調査」
(雇用者(役員除く)における「管理的職業従事者」の人数及び割合。従業上の地位の不詳補完値により集計)

「令和6年能登半島地震」に対する連合の取り組み

【連合三重】

◆ボランティア活動支援金を寄付

連合三重と三重県労福協は、4月2日にチャリティ基金より、みえ災害ボランティア支援センターへ支援金として30万円を寄付しました。

【連合本部】

◆連合救援ボランティアがスタート

3月25日から七尾市、珠洲市、輪島市を中心に1クール約40名を派遣して、がれきや家財などの運び出し等の活動を行っています。

◆救援カンパ金を被災県に義援金として寄付

	寄付先	金額		寄付先	金額
4月23日	石川県	1億3,043万1,538円	5月13日	新潟県	2,000万円
4月26日	富山県	2,000万円	5月15日	福井県	500万円

◆女性・子ども支援に関する支援

連合は、4月23日に石川県に対し、女性・子ども支援に関する要請書を提出。防犯ブザーと笛を2,000個と防犯用子ども用のヘルメット1,400個を提供しました。



狭山事件を学ぶ



▲無実を訴える石川一雄さん



◀狭山事件とは



▲再現された石川さん宅

4月11日、連合と部落解放中央共闘会議の共催で「人権学習フィールドワーク」が開催され、番委会長が参加しました。

連合三重は部落解放三重県民会議に参画し、検察の証拠開示や再審実現に向けて取り組んでいます。

学習会では、狭山事件で冤罪となった石川一雄さんから無実の訴えを聞き、狭山事件の真相や裁判の概要について報告を受けました。フィールドワークでは、ウソの自白コースをまわり、再現された石川さん宅の鴨居の確認を行うなど、理解を深めました。

世界の恒久平和をめざして

6月～9月は連合「全国平和運動強化月間」

- 連合では、6月～9月を連合平和月間に制定し、沖縄・広島・長崎・根室において平和行動を行っています。平和行動では、式典や集会への参加の他、戦跡や平和祈念資料館を巡るなど、悲惨な戦争の歴史を学び、平和の大切さを心に刻みます。
- 私たちが安心して暮らしていくためには、社会が平和で安定していることが大前提です。連合三重は、世界の恒久平和の実現をめざし、平和であり続けることの大切さを訴え、次世代へ継承する運動を進めていきます。

平和パネル展ならびに平和学習会を開催します

平和パネル展

とき 7月17(水)～31日(水)
ところ 三重県総合博物館MieMu
3F学習交流スペース

DVD「ジョバンニの島」上映会

とき 7月31日(水)
午前の部 10:00～12:00
午後の部 13:30～15:30
ところ 三重県総合博物館MieMu
3Fレクチャールーム

参加費無料



お子さまの参加も大歓迎!



安心社会づくりに向けた福祉活動に、各種団体と連携して取り組みます

N三重県労福協

〒514-0004 津市栄町1丁目891
三重県勤労者福祉会館内
TEL 059-225-2855
FAX 059-229-4433
ホームページ <http://www.mie-rofkyo.jp>

豊かで、公正な社会づくりをめざして。

R 健全・安心・貢献 東海ろうきん

〒514-0003 津市桜橋2丁目126番地
TEL 059-224-0336
FAX 059-224-4819
ホームページ <http://tokai.rokin.or.jp>

私たちは、日本でただひとつ。はたらく人のための生活応援バンクです。

こくみん共済coop

〒514-0004 津市栄町4-259-1
TEL 059-227-6167
FAX 059-225-5069
ホームページ <https://www.zenrosai.coop>

共済事業をとおして「労働者福祉運動」をサポートします。

三重県住宅生協

〒514-8540 津市栄町1丁目891
三重県勤労者福祉会館内
TEL 059-225-0851
FAX 059-225-0337
ホームページ <http://www.mie-jsk.or.jp/>

理想の住まいづくりをカタチにする暮らしのパートナー。